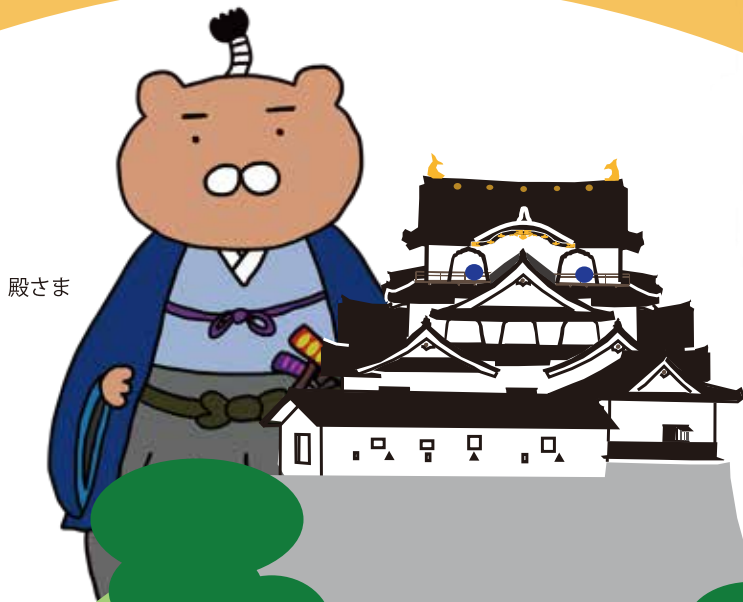




Hikone Castle Town  
彦根城を世界遺産に

# みんなの彦根城を 世界遺産に



殿さま



家臣 A



家臣 B



家臣 C



キンクロハジロくん



ハクチョウ隊長



カルガモさん



|                                                                                   |                |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|
|  | 彦根城について        | … 1  |
|  | 彦根城ってすごいんだ！    | … 4  |
|  | 世界遺産ってなに？      | … 7  |
|  | 彦根城の世界遺産としての価値 | … 11 |
|  | もっと知ろう豆知識まんが   | … 17 |



## 未来にお城を残し隊

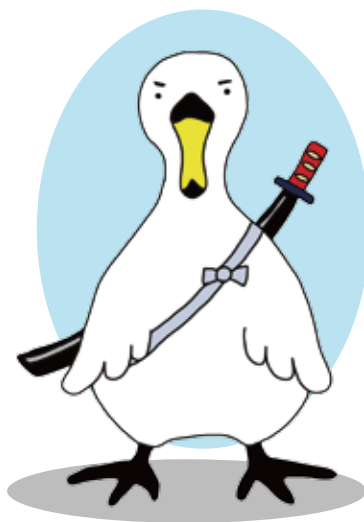


普段はのんびりとお城のお堀に浮かんで泳いでいる三羽の水鳥たち。三羽とも彦根城が大好きで、ひそかに「未来にお城を残し隊」として、お城のことをまもってくれているんだ。

彦根城のこともくわしいから、今回はこの三羽が彦根城のことや世界遺産のことを説明してくれるよ！



キンクロハジロくん



ハクチョウ隊長



カルガモさん



# 彦根城について

## 彦根城築城について

彦根城は標高約 136mの彦根山山頂の天守を中心にして作られました。  
1600 年の関ヶ原の戦いの次の年、彦根藩初代藩主の井伊直政には佐和山城  
が与えられます。その翌年に直政は亡くなってしまいますが、1604 年 7 月  
1 日から直政の長男の直継によって彦根山で彦根城の建設工事が開始されま  
す。彦根城の建設工事は、江戸幕府が全面的に支援しておこなわれました。  
工事は彦根の近くの大名も協力して大急ぎで進められ、1606 年の年末から  
1607 年の年始頃には、天守が完成しました。天守は大津城からもってきた  
と伝わっていて、そのほかの建物や石垣の石も他のお城などからもってきて  
再利用したものと伝わっています。

工事は、山を大きく削ったり、石垣を築いたり、芹川の流れを変えたり、  
城下町をつくったりする必要があったりしてすごく大変なものだったので幕  
府の支援が必要でした。

なお、最終的な堀は内堀、中堀、外堀の 3 重でしたが、最初は 1 重の堀でした。  
そして、城主は、山の上の天守の前につくられた御殿にいました。

このお城の工事は、大坂城にいた豊臣氏を攻めた大坂の陣という戦いで中  
断しますが、そのあとは直継の弟の直孝があとをついで 1622 年に完成させ、  
今は彦根城博物館になっている表御殿が地域の政治の中心としての役割を果  
たしてゆきます。



ひこね ごじょうか そう え す

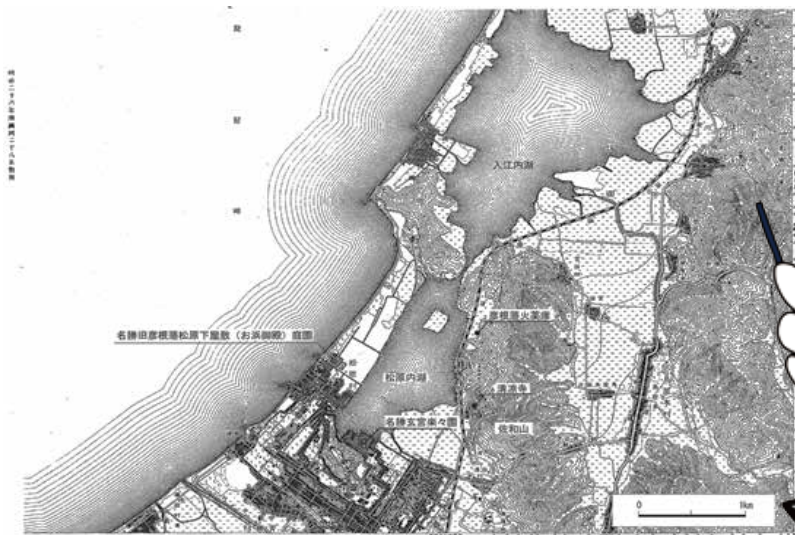
彦根御城下惣絵図 (江戸時代の終わりごろの絵図)

城下町を含めたお城の完成には  
18 年間かかったんだよ。

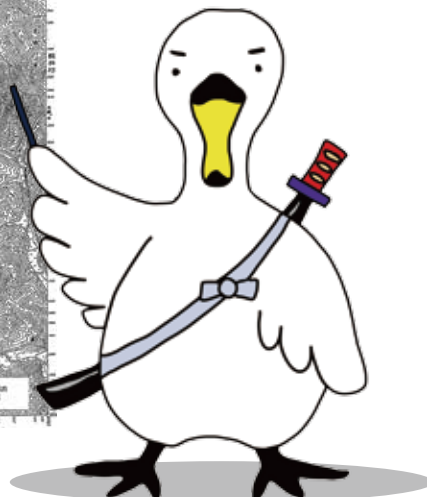


## 彦根藩の周辺環境

1944 年に干拓工事が始まるまで、彦根城の北には松原内湖という琵琶湖とはべつの湖が広がっていました。



今と全然違うね。昔は水にかこまれたお城だったんだ。



## 彦根藩の範囲と人口

近江国での彦根藩の領地は、現在の彦根市だけでなく長浜市から米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町、東近江市、近江八幡までのすごく広いものでした。近江国の彦根藩の領地に住んでいた人は、江戸時代前期で約 20 万人です。ちなみに城下町には約 3 万 7 千人の人が暮らしていて、そのうち武士が約 2 万人でした。

※彦根藩の領地は東京都の世田谷や栃木県の佐野市にもありました。



今は、市や町が分かっているけど昔は一つの彦根藩の領地だったんだね。



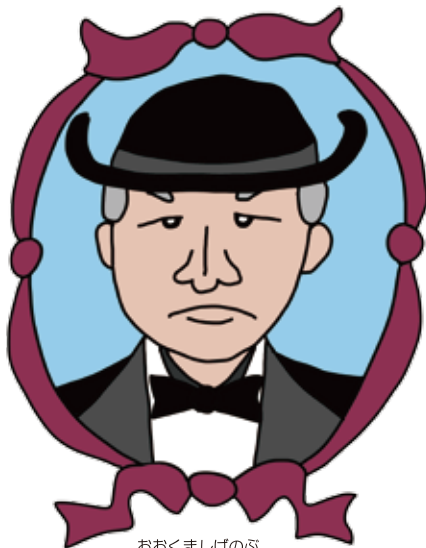
彦根藩の領地

※灰色が彦根藩

## 彦根城が現在に残ったわけ

明治時代に入ると、彦根城と城下町は目まぐるしく変化します。1871 年 7 月には彦根藩が廃止され、9 月には最後の彦根藩主だった井伊直憲が彦根を離れることとなります。この後、彦根城は役所となったり、軍隊の基地になったりしますが、1878 年に軍隊の基地が他に移ったことで、使われなくなった天守などのお城の建物を壊すことが決定されます。この時が彦根城にとって最大のピンチでしたが、明治天皇と一緒に彦根を訪れていた大隈重信が、彦根城が解体されかかっているのを目撃し、残念に思って明治天皇に彦根城を保存するよう提案します。このことから、彦根城は保存されることになりました。

1944 年には、彦根城跡の土地・建物が井伊家から彦根市に寄附され、1951 年に、彦根城が史跡という文化財になりました。さらに 1956 年には特別史跡に指定されます。ちなみに特別史跡は滋賀県では安土城と彦根城しかありません。



おおくま しげのぶ  
大隈重信

明治維新から大正期にかけて、  
財政・外交にすぐれた手腕を発  
揮した佐賀県出身の政治家。彦  
根城の恩人だ。





# 彦根城ってすごいんだ！

江戸時代のことがよくわかるところがすごい！

ここがスゴヤ！

日本の江戸時代は、世界的に珍しく、約 250 年の間、戦争のない平和な時代でした。戦国時代を終わらせたのは、武士でした。武士たちは自分たちの役割を、「戦うことを専門とする集団」から「政治を専門とする集団」に変えて、「城」を中心に自分の領地を治める新しい仕組み（将軍を中心とする幕府と大名を中心とする藩が一緒に国を治める仕組み）を築き上げました。

彦根城は、政治の中心で、天守をはじめ領地を治めるための政治をおこなったいろいろな施設が日本で一番多く残っていて、よい状態で保存されています。このことから、彦根城を見れば、それだけで江戸時代の政治の仕組みを知ることができるのです。



大きいなあ。

槍を背負いながら説明するのもおかしいけど…。地域の平和をまもるためには戦うことよりも人びとが幸せに暮らせるように政治をすることのほうが大切だったんだ。

彦根城は、はじめ「戦う」ことを考えてつくられました。戦いがあった時に敵を中に入らせないようにする工夫がたくさんあって、今も残っています。ただし、私たちが今見ている彦根城の姿は、平和な時代になってから完成した姿です。その時につくられた平和な時代を守っていくためのものが彦根城には全国のお城で一番残っています。

### ■ 大名の御殿（政治の中心）

大名の家でもありましたが、行事がある時に家臣が集まったり、大名と重臣が政治の話し合いをして色々なことを決める役所のような場所でもありました。大名の家の部分は右の写真の奥の方、役所のような場所は、手前の方です。江戸時代には「表御殿」と呼ばれていました。

現在は、彦根城博物館になっていますが、発掘調査で御殿の遺構が完全に残っていることがわかりました。その遺構は、壊れないように博物館の地面の下に保存されています。



現在の表御殿（彦根城博物館）



発掘調査で見つかった表御殿の遺構

### ■ 重臣屋敷跡（政治に参加する人々）

大名の御殿を取り囲むような形で重臣屋敷が並んでいました。重臣は江戸時代まで自分の領地に屋敷があり、城ももっていましたが、江戸時代には、大名の御殿を中心に集まって暮らすようになりました。

彦根城には、重臣屋敷の建物がいくつか残っていて、発掘調査では、遺構が良く残っているのがわかっています。



重臣屋敷の長屋門

### ■ 中堀（政治の場所のさかい目）

大名の御殿と重臣屋敷等がある範囲を取り囲むように掘られています。この中堀によって重臣は領地との関係を断たれました。また、大名と重臣が暮らす空間の威厳を示していました。



中堀

### ■ 同じ考え方を持つための場所

大名庭園の玄宮園や表御殿の能舞台は、文化的な活動の中で大名と重臣が話し合いで政治をするときに同じ考え方をもつことができるようにする場所でした。



玄宮園

また、現在の彦根市立西中学校のグラウンドにあった学問所（藩校）の弘道館は、重臣が教師になってその他の家臣に勉強や武術を教えることで大名と同じ考え方を全体に教えることができる場所でした。



現在は別の場所にある学問所の建物  
（金亀会館）

### ■ お城の見た目に关系するもの

彦根城に残る天守や櫓などの建物、石垣などは、お城の見た目に关系する物です。お城の存在感を周辺にアピールし、人々に安心感を与えることで地域を安定させることができました。



天守



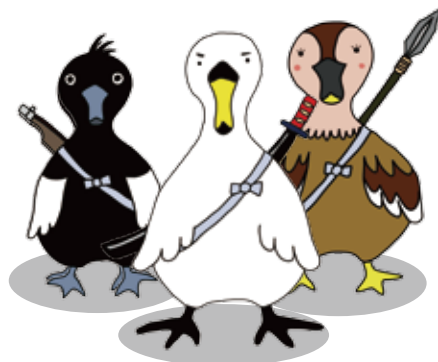
# 世界遺産ってなに？



## Q そもそも、世界遺産ってなに？

人類にとって、地球にとって、未来に残すべき貴重な遺産です。

世界遺産は、重要な文化財や自然を破壊からまもるための国際的な制度です。1972年に世界の国々が教育や科学のことについて会議をするユネスコ総会で決まりました。世界遺産は、人類全体にとって価値のある遺産を世界が協力して保護することを目的としています。



みんなの宝物だから、みんなでまもることが大事なんだ。

世界遺産は、世界が協力するために、国と国とが約束する条約「世界遺産条約」というもので決められています。



彦根城を東の空から見た景色



彦根城は、1992年に日本国内で最初に世界遺産の候補に選ばれました。世界遺産にするためにがんばらないと！

## Q 世界遺産にはどんな種類があるの？

文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類があります。

文化遺産は、人類の歴史が生み出した遺跡や建築など。自然遺産は、地球の生成や動植物の進化を示すもの。複合遺産は、文化遺産と自然遺産の両方の価値を持っているものです。彦根城は、文化遺産での登録を目指しています。世界遺産は全世界で1, 200件以上あります。



モンサンミッシェルとその湾

文化遺産

ちなみに富士山は 2013 年に自然遺産ではなく、文化遺産で世界遺産に登録されてるよ。信仰の対象でもあり、絵画などの芸術作品の題材になったからなんだ。



グランド・キャニオン国立公園

自然遺産



マチュ・ピチュの歴史保護区

複合遺産

※まだ日本には複合遺産はありません。

## Q 世界遺産になるために必要なことは？

ユネスコの専門の委員会で認めてもらう必要があります。

世界遺産をまもることを約束した世界の国々が、まず、自分の国で世界遺産の候補を選び、その中から世界遺産に登録したいと考える資産をユネスコに相談します。次に専門家が調査をおこない、その調査結果をもとに、ユネスコの委員会で世界遺産に登録するかどうかを決めます。

彦根城を世界遺産に登録するためには、次の3つのことが大事です。

- ①彦根城に世界的な価値があることを証明すること
- ②彦根城の価値を守るための仕組みを整えること
- ③地域の人々が彦根市を世界遺産にふさわしいまちにしたいと思うこと

彦根城を世界遺産にするために彦根城に世界遺産としての価値があることを証明する。その価値を守るための計画を作り、地域の人々が彦根城を守っていくということを考える。



国際的な専門機関の評価を事前に受ける。（事前評価）



国が彦根城を世界遺産にしたいと決める。



国が世界遺産にするようにユネスコに推薦する。

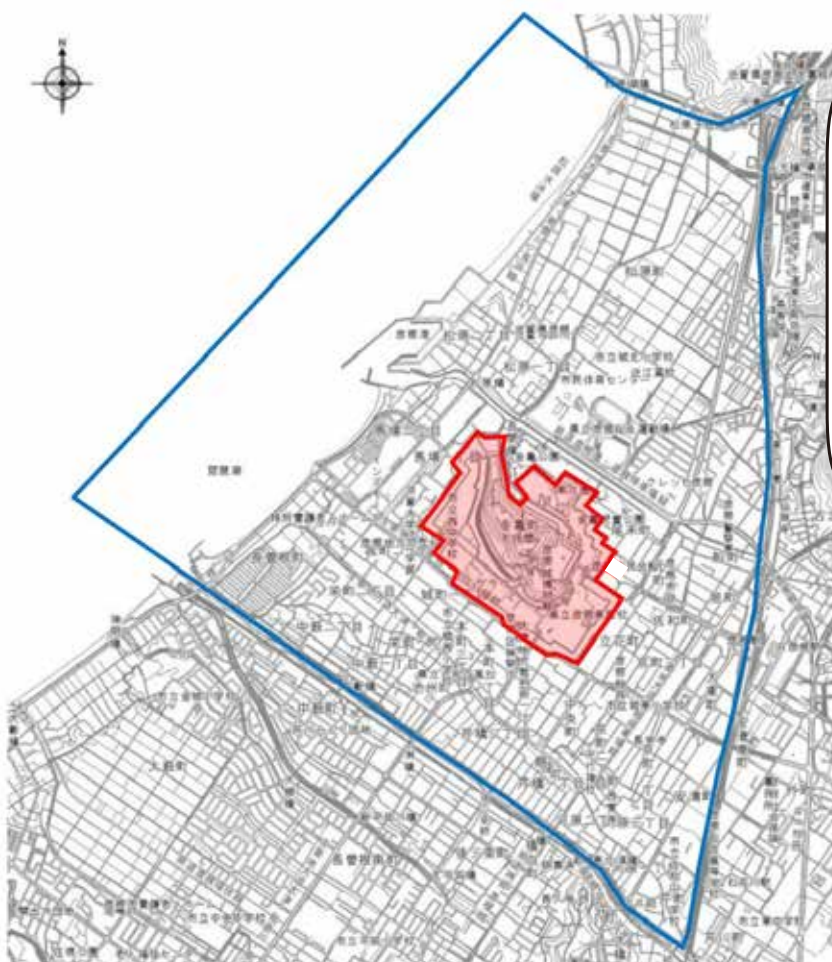


ユネスコが彦根城を世界遺産にするかどうか決める。

## Q 彦根城の世界遺産になる範囲は

彦根城の中堀から内側の範囲です。

彦根城の中堀より内側には、江戸時代の政治に必要な天守、御殿、重臣屋敷、大名庭園、藩校跡がまとまって残っています。この特別史跡という文化財になっている範囲（外堀土塁を除く）を世界遺産の候補として考えています。



凡例  
■ 資産範囲  
■ 緩衝地帯（バッファゾーン）

赤色の範囲が世界遺産の予定範囲だよ。この範囲は国の特別史跡という文化財になっているんだ。  
青色の線の範囲がバッファゾーンという世界遺産をまもるための予定範囲だよ。

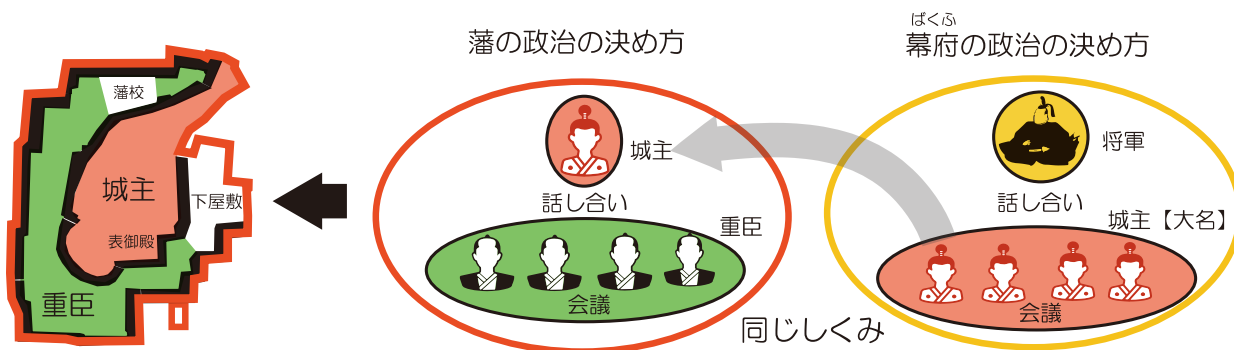




## 彦根城の世界遺産としての価値

江戸時代、約 250 年の間、一度も大きな争いを起こさなかった政治のしくみを彦根城の全体の形で説明できるところがすごい！

彦根城は、天守をはじめ、城主の御殿、重臣屋敷、大名庭園、藩校跡など、江戸時代の政治のしくみを示す建築物や遺構が日本で一番まとまって保存されています。もともと戦うことが仕事だった武士が日本国内のそれぞれの領地をおさめて、日本全体の平和を守った政治のしくみは、世界的に、江戸時代の日本にしか見られないもので、それを彦根城は全体の形で説明することができます。

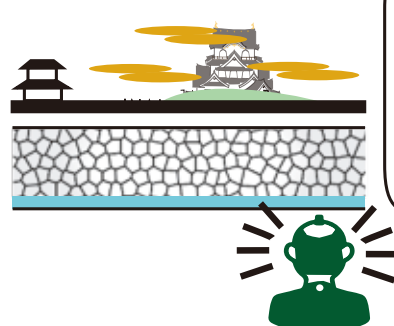
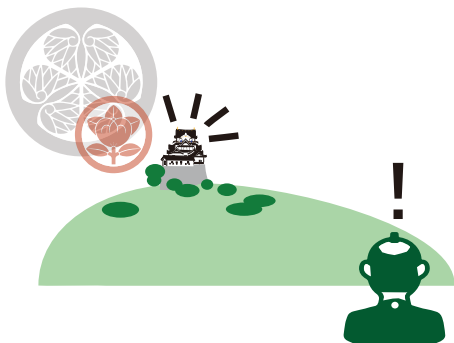


### 政治の仕組みがわかる形

藩の政治は中堀の内側に住む人びとによって決められていました。

江戸城と同じお城の形が将軍に認められたことを表現している。

石垣や櫓、堀によって内側が特別な空間ということを表現している。



先に世界遺産になっている姫路城は建物の美しさという価値。彦根城は当時の政治のしくみがわかる色々なものが一番まとまって残っているところに価値があるんだ。



### 政治のシンボル

遠くからでもよくわかる。近づくのはおそれ多い。

## 戦国時代と江戸時代の城の違い

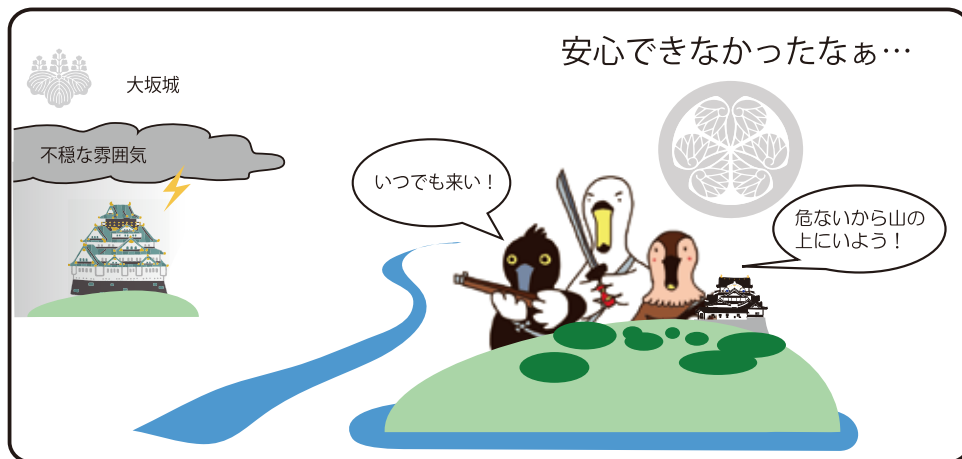
### 戦国時代



### 江戸時代



戦国時代には大名の家臣でも有力な者は、自らの城を持って独自に地域を支配していました。でも、これでは、地域の支配は複雑になり、統一した政治をするのは難しかったのです。(お寺なども独自の領地を持っていました。)。その問題を解決するため、幕府は大名の有力な家臣に城を捨てさせ、領地から離し、大名の城に集まって暮らすように指示を出します。こうして、城が大名の領地でたった一つになったことで家臣が力を蓄えて反乱することができなくなりました。また、同時に政治も大名の城だけで決定されるようになったので統一した政治がしやすくなりました。



彦根城は、豊臣氏がいる大坂城を攻めるためにつくられたので、最初は戦いのことを中心に考えられていて、全国でも最強の城の一つでした。この時の堀は戦いの時に最低限必要な内堀だけの一重の堀の城でした。

ところが、大坂城での戦い（大坂の陣）が徳川家康の勝利で終了すると、日本全国に平和が訪れたので、お城はその平和がずっと続くように政治をするための場所になっていき、「城の中心」は山の上ではなく麓に新しくつくられた表御殿になりました。



平和がずっと続くようにする政治は、この表御殿で話し合って（合議）で行われました。そして、表御殿は大名が生活する家でもありました。

## 御殿での政治



有力な家臣は、笹之間にいつもいたので「笹ノ間衆」<sup>ささのましゅう</sup>とも呼ばれていたんだ。



江戸時代になると大名だけで政治を決めるのではなく、重臣が話し合い（合議）でいろいろなことを決めて、大名に相談するという政治のしくみになりました。

## 御殿での生活



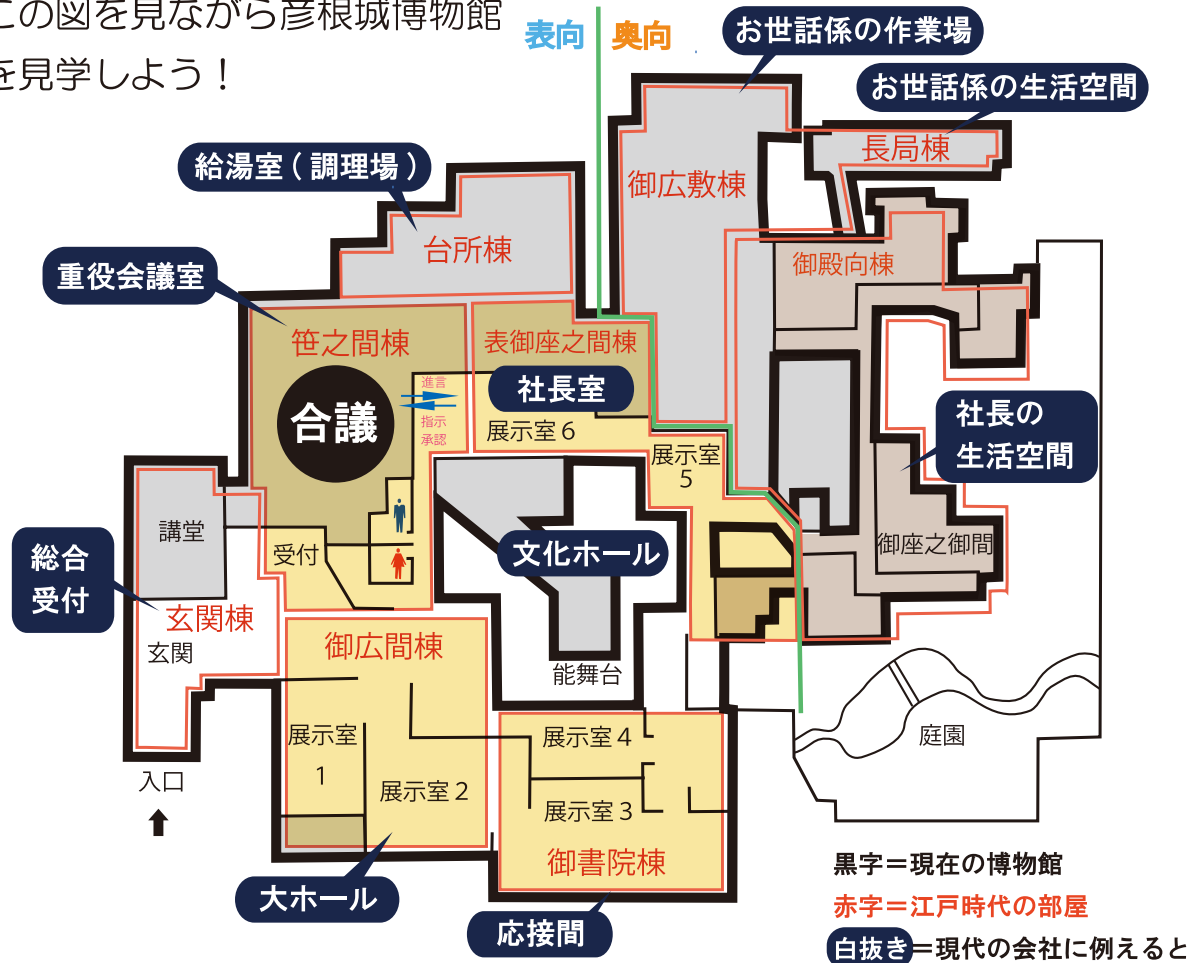
表御殿の政治の場は「表向」、生活の場は「奥向」と呼ばれました。



殿様は、参勤交代で一年ごとに彦根と江戸を行ったり来たりしていました。仕事も多かったので地元でゆっくりできるヒマはあまりありませんでした。留守を預かっていたのは、藩主と同じ考えを持った重臣たちです。

## 彦根城博物館で表御殿を実感しよう

この図を見ながら彦根城博物館を見学しよう！



表御殿内部を今の会社の建物に例えると…

### 表向

- |     |     |    |         |                      |
|-----|-----|----|---------|----------------------|
| げん  | かん  | とう | 棟       | → 総合受付               |
| 玄   | 関   | 棟  |         |                      |
| おん  | ひろ  | ま  | とう      | → 全員集合！大ホール、セレモニーホール |
| 御   | 広   | 間  | 棟       |                      |
| ご   | しょ  | いん | とう      | → 応接室。家臣や外部からの来客と面談  |
| 御   | 書   | 院  | 棟       |                      |
| おもて | ご   | ざ  | の       | → 社長室                |
| 表   | 御座  | 之間 | 棟       |                      |
| ささ  | の   | ま  | とう      | → 重役会議室              |
| 笹   | 之   | 間  | 棟       |                      |
| だい  | どころ | とう | きゅうとうしつ | → 給湯室、社員食堂の調理場       |
| 台   | 所   | 棟  |         |                      |
| の   | ぶ   | だい |         |                      |
| 能   | 舞   | 台  |         | → 文化ホール              |

### 奥向

- |    |    |    |    |             |
|----|----|----|----|-------------|
| ご  | てん | むき | とう | → 社長の私生活空間  |
| 御  | 殿  | 向  | 棟  |             |
| おん | ひろ | しき | とう | → お世話係の作業場  |
| 御  | 広  | 敷  | 棟  |             |
| なが | つぼ | ね  | とう | → お世話係の生活空間 |
| 長  | 局  | 棟  |    |             |



※当時、奥向では女性が中心に働いていました。

## 庭園の役割

蹴鞠は、ゴールにボールを入れるゲームじゃないよ。落とさないようにみんなで交代してリフティングするゲームなんだ。



玄宮園にある真つすぐな道はもともと馬のかけ比べをするところでした。

お茶会だけでなく  
体も動かしてたんだね。



玄宮園では、庭園のキレイな景色を眺めていただけではなく、お茶会が開催されたり、蹴鞠が楽しまれたり、短歌がよまれたりといった文化的な活動が催されました。また、時には彦根藩の領地だった長浜から曳山が持ってこられて子ども歌舞伎が上演されました。それだけでなく競馬や弓術といった武芸も披露されました。文武両道を志した武士らしい庭園でした。これは、大名と家来が同じ価値観や考え方を持つための活動だったのです。

## 藩校の役割



藩校では、国語や算数  
社会はもちろん、国内  
や中国の哲学の勉強も  
していたんだ。



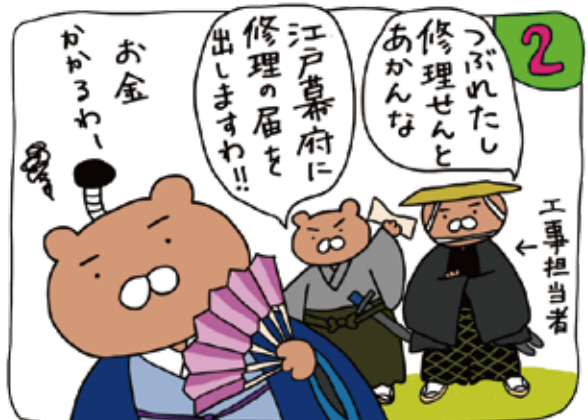
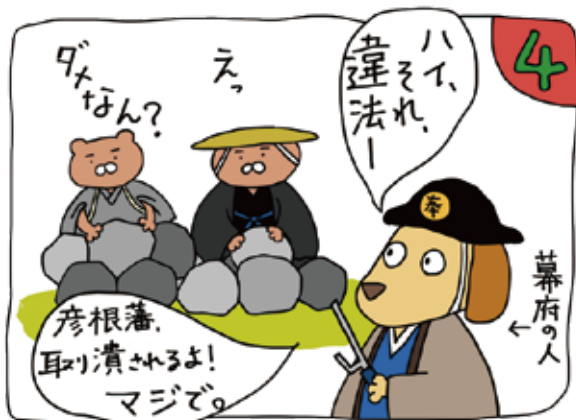
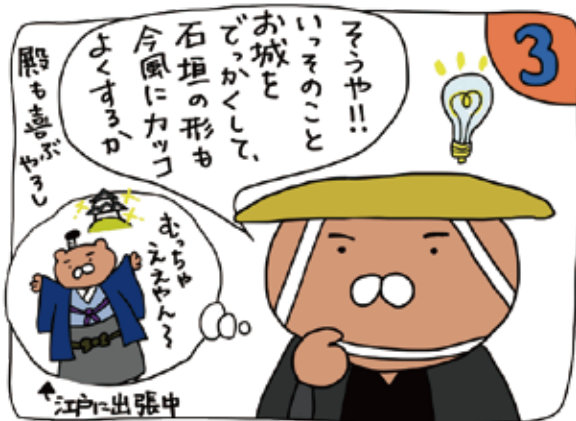
藩校では、重臣が教師になって、全ての武士の子どもにいろいろなことを教えました。勉強だけでなく、武芸も教えていました。

こうすることで、大名と重臣が持っている同じ価値観や考え方をすべての家臣に子どものころから伝えることができるようになり、政治をうまく進めることができるようになりました。



# もっと知ろう豆知識マンガ

## 江戸時代のお城の修理



ふけしよはつと

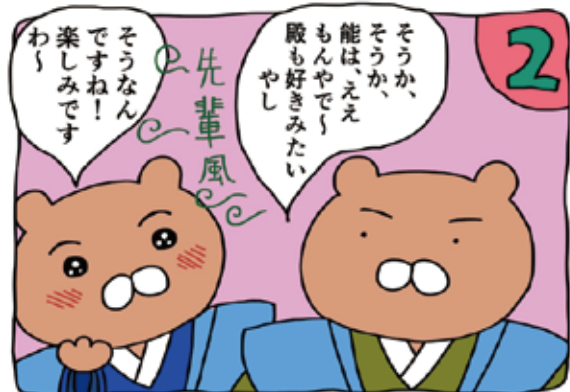
1615年に江戸幕府が定めた「武家諸法度」という法律では、大名に戦う準備をさせないため、幕府の許可なく城を修復・改造することが禁止されていました。(許可されたのは、もとの形に戻す事だけです。)結果として、最初のころのお城の形がずっと保存されることになりました。



天秤櫓

彦根城にある天秤櫓の土台の石垣は、江戸時代の終わりころに地震で向かって左側が崩れ、天秤櫓も半分壊れ、修理されました。石垣の積み方は違いますが以前と同じ形で積みなおされ、形は変わっていません。

## なぜ、お城の中に能舞台があったの？



※能は、長い場合は丸一日演じられました。

能は、幕府の公式の行事がある時に開催され、全国の大名もこれを真似しました。彦根藩でも正月や先祖命日などに能が開催されました。能は、ただ芸能を楽しむだけでなく、大名と家臣が一緒に物語に感動し、同じ気持ちになることで話し合いの政治をスムーズにするための催しでした。

彦根城博物館にある能舞台は、明治時代に他の場所に移動されていたものを博物館を建設する時に元の場所に戻された本物です。



能舞台の跡

彦根城博物館にある能舞台は、発掘調査でわかった能舞台の跡を保護した地面の上に建てられています。

## 彦根城の城主、井伊家はスゴイ！



※烏帽子親とは…武家の男子が元服の際、親に代わって烏帽子をかぶらせ、烏帽子名を付ける人。将来を託すべき、親に何かあった時に子供を任せられる一番信頼できる者が烏帽子親になりました。

井伊家は、譜代筆頭ふだい ひとづめとよく言われますが、江戸城の溜之間たまりの まで仕事をする溜詰たまりづめという役割を担っていました。この溜詰は、將軍に一番近い場所に常において幕府の政治を決める時に相談にのったり、助けたりする役割でした。

このため、將軍と同じ価値観をもって政治判断することが求められました。將軍と一心同体の井伊家の居城、彦根城は、江戸時代のお城を最も代表する城ということもできます。

また、大老という幕府の政治に大きな責任を持つ役職にもなりました。



直弼をはじめ5回も大老の役職についているんだよ。



## 彦根城があるあたり前で大切な彦根の景色



私たちは、普段、お城が見える彦根らしい景色を当たり前の景色だと思っています。ただ、天守を中心とするお城の姿が戦争や災害で失われなかったことは、実はすごく幸運なことです。明治時代になった後も彦根の人たちはこの景色を守ってきました。

このお城が見える景色は、江戸時代の人々にとっても大切な景色でした。お城が見えることで、人々は安心を感じ、幸せに暮らすことができたのです。この景色は、彦根城の世界遺産としての価値の一つで、この景色を次の世代へ引き継いでいくことは、世界遺産を目指す上でも大変重要な事です。



どうしたらもっと良い景色になるのかな？

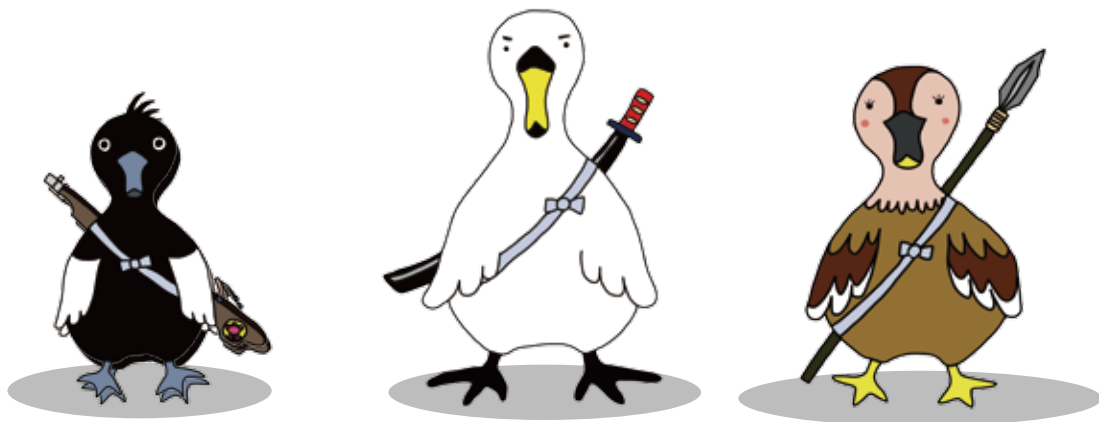
## Q 世界遺産に登録されるためにみんな なでできることは？

彦根城の世界遺産登録実現に向けて、さまざまな応援をお願いいたします。

地域みんなが、彦根城を世界遺産にしたい！彦根城を未来に残していきたい！  
という思いをもつことが大切です。また、彦根市を世界遺産にふさわしいまちに  
することも大事なことです。どのように世界中の人たちと交流するかを考えるこ  
と、たとえば観光客の方々に対してあいさつをしたり、外国からの観光客の方々  
に彦根城の簡単な説明ができるようになることなど、自分でできることを、1つ  
ずつ実行することが心からの「おもてなし」になり、彦根を世界遺産にふさわし  
いまちへと育ててゆくことにつながります。

そのために彦根城のことをたくさん勉強して、彦根城を世界遺産に登録する価  
値があることをアピールしていきましょう！

彦根城を世界遺産にすることはみんな  
が暮らしている彦根市をよりよいまち  
にするってことなんだ。



彦根城のお堀でわたしたちを見かけたら、この本の内容を思い  
出してね。

# 年 表

- |        |                                               |
|--------|-----------------------------------------------|
| 1600 年 | 関ヶ原の合戦                                        |
| 1601 年 | 井伊直政が佐和山城に入城                                  |
| 1602 年 | 井伊直政が亡くなる。長男、直継が城主となる。                        |
| 1604 年 | 彦根城の築城が始まる。                                   |
| 1606 年 |                                               |
| 1607 年 | 天守が完成                                         |
| 1614 年 | 大阪の陣（冬の陣）に出陣した次男の直孝が城主となる。                    |
|        | 築城工事が中断する。                                    |
| 1615 年 | 大阪の陣（夏の陣）                                     |
| 1622 年 | 城下町を含めた彦根城が完成する。                              |
| 1871 年 | 江戸時代が終わって、彦根藩がなくなる。                           |
| 1872 年 | 彦根城が陸軍の基地になる。                                 |
| 1878 年 | 城内の建物の解体が決定するものの、大隈重信が明治天皇に中止を提案し、保存することが決まる。 |
| 1944 年 | 彦根城が彦根市に寄附される。                                |
| 1951 年 | 彦根城が史跡、天守が重要文化財になる。                           |
| 1952 年 | 天守が国宝になる。                                     |
| 1956 年 | 彦根城が特別史跡になる。                                  |
| 2027 年 | 彦根城が世界遺産になるかも？                                |

編集・発行：彦根市観光文化戦略部文化財課  
彦根城世界遺産登録推進室

発 行：令和 7 年 3 月

〒522 - 8501 滋賀県彦根市元町 4 番 2 号

電話 0749 - 26 - 5833

FAX 0749 - 26 - 5899

e-mail hikone-wh@ma.city.hikone.shiga.jp